

# 総務委員会資料

## 1 所管事務の調査（報告）

### (3) 市ホームページリニューアルの取組状況について

資料 市ホームページリニューアルの取組状況について

総務企画局

令和5年8月24日

# 市ホームページリニューアルの取組状況について

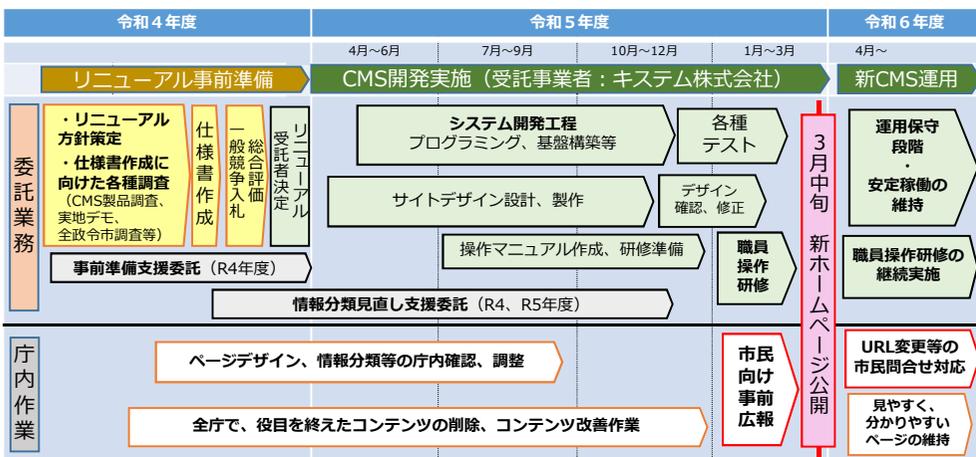
## 1 市ホームページリニューアルの目的

現在の市ホームページのCMS（コンテンツ管理システム）は、稼働開始から11年を迎え、「モバイルファーストへの対応が不十分」、「コンテンツが見つけづらい」といった課題を抱えている。こうした現在の運用上の諸課題を解決し、利用者にとっての使いやすさを向上させることを目的として、令和5年度末にリニューアルを実施する。

## 2 市ホームページの現状

- 総ページ数 : 約5万6,000ページ
- CMS使用者 : 庁内約600部署、職員用IDの発行数約1万4,000件
- ページ作成数 : 年間新規作成約1万ページ、一部修正3万ページ以上
- ページビュー数 : 年間約9,160万回、1日当たり約25万回（令和4年度実績）
- システム形態 : 川崎市IDC（インターネットデータセンター）にシステム機器を設置

## 3 主なスケジュール



## 4 リニューアル方針で掲げた課題への取組状況

令和4年7月に「事前準備支援委託」の受託事業者の専門的な知見をもとに、現行ページの課題を踏まえ全8項目の「リニューアル方針」を策定した。現在、方針で掲げた課題の解決に向け取り組んでいる。

No.	リニューアル方針	対応状況
1	【モバイルファースト】スマートフォンでの探しやすさ、使いやすさを向上させる	①「ファーストビュー」（最初の表示範囲）で、利用者の使いやすさを向上させるため、よく使われるメニュー項目、支援機能等を統合して表示 ②余白を取って見やすさを重視したデザイン。視認性や操作性を向上させるため、画像、ボタン、コントラスト等を工夫
2	【探しやすさ①】不要な公開コンテンツを削減し、探しやすさを向上させる	①毎年全庁の各所管に、役目を終えたコンテンツの削除やコンテンツ内容の更新の働きかけを実施 ②検索機能の改善（HTMLのみの検索機能付加） ③検索結果を最新の更新日順に並び替える機能付与 ④検索結果表示時の概要説明表示の徹底 ⑤タイトル文字数の制限（検索サイトの表示文字数30字以内を目安）

No.	リニューアル方針	対応状況
3	【探しやすさ②】トップページからのリンク階層を減らし、探しやすさを向上させる	①大分類の整理（2増2減） ②全庁各所管における分類見直し案の確認、修正の実施
4	【区サイトの改善】区HPを市HPの一部と位置づけ、利用者が混乱せずに利用できるようにする	①「市役所サイト内の区役所サイト」であることが分かるサイトデザイン ②区役所サイト上のリンクに、区役所サイト内リンク、市役所サイトへのリンクが分かるように表示
5	【緊急情報】緊急情報、安全安心情報の探しやすさ、伝わりやすさを向上させる	①グローバルナビゲーション（ページ上部の大分類）に「防災・防犯・安全」を新設（どのページからでも1クリックで開ける） ②全てのページのファーストビュー内（共通ヘッダー内）で緊急情報を表示し、どのページからでも緊急情報を取得可能に
6	【魅力発信】川崎市の魅力の伝わりやすさを向上させる	①トップページに「魅力発信・イベント情報」コーナーを新設 ②イベントカレンダーのデザイン、イベントの種類を検索機能等を改善（イベントの種類：6件→19件）し、イベントを見つけやすく
7	【CMS製品】現行CMS及び他製品の調査結果、職員の操作性向上等を考慮し、リニューアル方針を実現できる製品を選定する	①19社に対して製品機能調査を実施 ②複数社が参加した競争入札により選定
8	【アクセシビリティ】現行コンテンツのウェブアクセシビリティの問題点を分析し、リニューアルの中での改善を計画する	①ファーストビュー内（共通ヘッダー内）に音声読み上げ機能、ふりがな機能、機械翻訳機能のボタンを設置 ②職員のページ作成時に音声読み上げを確認できる機能等の付与

## 5 さらに安定稼働の実現、職員側操作性の向上、事前広報

① システム方式の見直しによる、さらなる安定稼働の実現

「インターネットクラウドサービスの採用」⇒ 本市使用中のサーバ機器が震災などで故障した場合でも、データセンター内で待機中の予備機へ自動的に切り替わり稼働を継続できる。  
「クラウドサービスの2拠点化」⇒ 大規模災害でメインIDCが被災した場合でも、数百km離れたサブIDCへと拠点を切替え、サイト公開を継続できる。

↓

大規模災害や急激なアクセス増加時でも、24時間365日の安定稼働を保つシステムを実現。

② 職員側の操作性の向上

現行CMSは、職員が複数のファイルをアップロードする際に、ファイルを一つずつ選択する必要があるなど操作性に課題がある。今回のリニューアルでは最新のCMS製品を導入することにより、マウス操作による一括選択（ドラッグアンドドロップ操作）を可能とするほか、公開予定画面のプレビューを確認しながら操作できる機能等を導入することで職員側の操作性を改善する。

③ 市民向け事前広報の実施

ホームページは広報媒体であるとともに、電子申請サービスへの玄関口としての役割も担うことから、e-KAWASAKIなど電子申請サービスの利用促進と併せてリニューアルの内容等の広報を実施する。

# スマートフォン版トップページ案

モバイルファースト (方針1①) アクセシビリティ (方針8①)

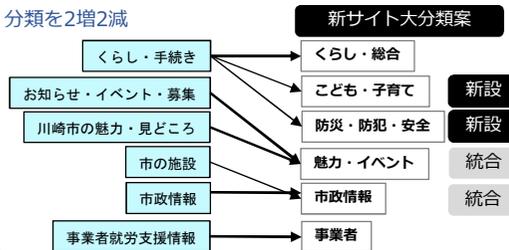
**ファーストビュー (最初の表示範囲) 内**  
 ・よく使う機能を集約  
 →ハンバーガーメニュー、機械翻訳等の支援機能  
 ・目的のコンテンツへの入り口  
 →大分類メニュー (6項目) を配置

**メインビジュアルエリア**

本市を象徴、代表する1枚絵を配置し、  
本市の魅力をアピール

全体的に余白を確保した見やすいデザイン

探しやすさ (方針3①) 緊急情報 (方針5①)



モバイルファースト (方針1②)

見やすさを重視したデザイン  
 →現行のテキストリンクの「お知らせ」から、「画像+テキスト」の組み合わせでより分かりやすく  
 →ボタンだけでなく、スワイプによる操作も可能

ボタン型のリンク  
 →現行のテキストリンクから、ボタン型にすることでタップできる箇所を分かりやすく表示

魅力発信 (方針6①)

トップページに「魅力発信・イベント情報」コーナーを新設  
 →川崎市の魅力の伝わりやすさを向上

最新のイベント  
 →「画像+テキスト」でピックアップして、分かりやすく表示

魅力発信 (方針6②)

検索機能を強化したイベントカレンダーへのリンク  
 イベントの種類、対象者、開催場所を組み合わせ、絞りこんでの検索が可能に  
 →よりイベントを見つけやすく (開発中)



探しやすさ (方針2②)  
 検索機能の改善 (全ファイル検索のほか、HTML検索を追加)  
 →検索結果からPDFなどの添付ファイルを除き、平均3分の1の件数へ (開発中)



**ハンバーガーメニュー**

よく使う項目に、どのページからもアクセス可能

**検索機能**

**アクセシビリティの支援機能**

**情報分類 (大分類)**  
↓  
必要な情報にたどり着きやすく

**よく使われるリンク**



右上へ  
続く

## スマートフォン版 区役所サイトトップページ案

### 区役所サイトの改善（方針4①）

「市役所サイト内の区役所サイト」であることが一目で分かるデザインを採用  
→利用者の混乱を防止



### 【参考】現行の区役所サイトトップページ

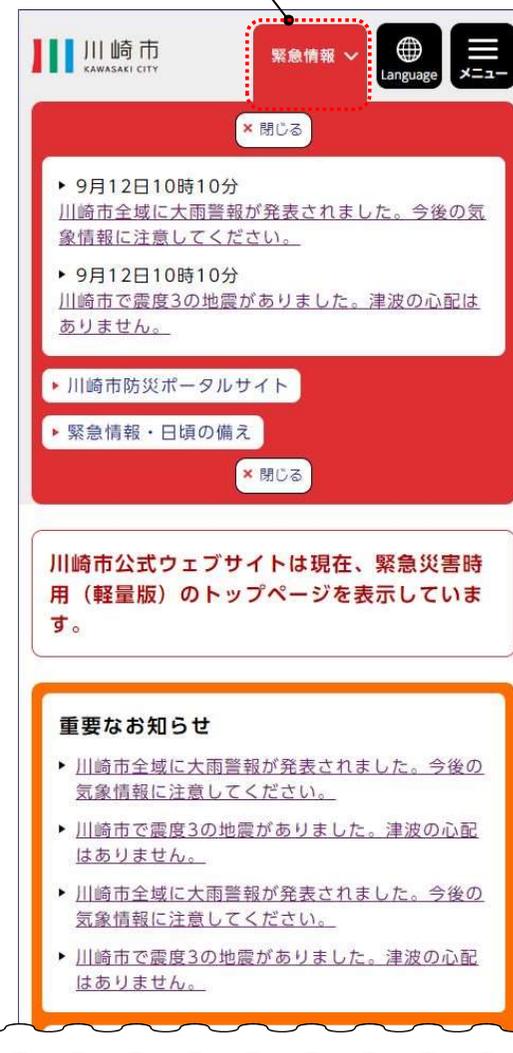
現行の区役所サイトは、独立したサイトとして見えてしまい「市役所サイト内の1コーナー」であることが分かりづらいデザインとなっている



## 緊急災害時・軽量版 トップページ案

### 緊急情報（方針5②）

「緊急情報」を全ページのファーストビュー内（共通ヘッダー内）に表示  
→どのページからでも「緊急情報」を見られる



# パソコン版 トップページ案

- ・横長のパソコン画面での見やすさを考慮したページデザイン
- ・パソコン版でも余白を確保したデザインに



右上へ  
続く

